

営農技術情報 暴風雪に備えて

令和3年(2021)年1月6日
日高農業改良普及センター

札幌管区气象台によると、北海道地方では、急速に発達する低気圧の影響により、7日夜から8日にかけて西または北西の風が雪を伴って非常に強く、大荒れの天気となる見込みです。

このため、猛ふぶきや吹きだまりによる交通障害、暴風による農業施設等の管理や停電への注意が必要です。随時発表される気象情報に十分注意し、対応に努めてください

- ◇ 天気予報等で今後の気象経過に注意をしてください。
- ◇ 作業の際は事故防止を心がけてください！
- ◇ 無理をせず、安全を第一に考えましょう！

札幌管区气象台ホームページ <http://www.jma-net.go.jp/sapporo/>

【園芸】

- 1 栽培中又は収穫後の施設ではビニールやハウスバンド等の各部の損傷やゆるみを点検し、必要に応じて補修等を行う。
- 2 積雪が多い場合、落雪により通路部分が埋まると施設の損傷も大きいのでできるだけ除雪を行う。
- 3 ハウスの気密性を高め、加温施設はできるだけ室温を高め、天頂面を暖めて落雪を促す。ただし、作物がある場合は可能な範囲で加温を行う。
- 4 湿った雪は重みでビニールがたるみ、滑りにくくなるので早めに雪降ろしを行う。緊急を要する場合、側面のスプリングを外して雪を落とすなどの方法でハウスの倒壊を防ぐ。
- 5 ビニールが雪の重みでたわんでいるときは、破れの発生や、裂け目が広がり雪の下敷きになる場合があるので、下から棒で突くような作業は行わない。
- 6 停電に備え、自家発電機や簡易暖房機等を準備し、緊急時に備える。

【酪農】

- 1 交通障害や停電により搾乳や飼養管理に支障が出た場合の問い合わせ先や対応方法を確認しておく。
- 2 前回の搾乳から16時間以内は、搾乳を中止しても乳量や乳質に問題は無い。
- 3 停電で搾乳が行えない場合、牛舎への出入りを必要最小限にし、牛に搾乳刺激を与えないようにする。給水が制限される場合は同時に、濃厚飼料の給与は控える。
- 4 発電装置が手配できる場合は、それらを利用して搾乳・冷却を行う。

【除雪作業等に伴う事故の防止】

- 1 特に気象警報発令中は無理な作業を避け安全を確保する。
- 2 除雪作業中は、子供や他の作業員、車両等に十分注意する。
- 3 屋根など高所の除雪作業を行う場合は一人で行わないこと。また、ヘルメット及び命綱など安全策を講じる。